

弾道ミサイル落下時の行動について

- 弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。
- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

メッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとってください。

【屋外にいる場合】

- 近くのできるだけ頑丈な建物や地下街などに避難する。
- 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。



【屋内にいる場合】

- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

～ 行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください ～



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、アラートを活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動 ②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト

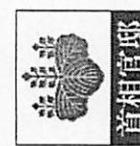
武力攻撃やテロなどから身を守るために

事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/

Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



首相官邸
災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai

— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます —



- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

(例)直ちに避難。直ちに避難してください。
ミサイルの一部が落下する可能性があります。
屋内に避難してください。



落ち着いて、直ちに行動してください。
落ち着いたら

できる限り頑丈な建物や
地下街などに避難する。

屋外に
いる場合

できる限り身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

建物が
ない場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

屋内に
いる場合

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ & A

問1 ミサイルは発射から何分位で日本に飛んでくるのでしょうか。

(答)

北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する場合、極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。

例えば、平成28年2月7日に北朝鮮西岸の東倉里（トンチャンリ）付近から発射された弾道ミサイルは、約10分後に、発射場所から約1,600km離れた沖縄県先島諸島上空を通過しています。

なお、弾道ミサイルの種類や発射の方法、発射場所などにより日本へ飛来するまでの時間は異なります。

問2 なぜ頑丈な建物や地下街などへ避難するのですか。

(答)

ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには屋内（できれば頑丈な建物）や地下街など（地下街や地下駅舎などの地下施設）への避難が有効だからです。

問3 自宅（木造住宅）にいる場合はどうしたらよいでしょうか。

(答)

すぐに避難できるところに頑丈な建物や地下街などがあれば直ちにそちらに避難してください。それができない場合は、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

問4 建物内に避難してから気を付けることはありますか。

(答)

爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

問5 弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合はどうすればよいですか。

(答)

車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。

車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難してください。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などがない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

問6 車から出ると危険な場合はどうしたらよいですか。

(答)

高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機してください。

問7 ミサイルが着弾した後は何をすればいいですか。

(答)

弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なります。

そのため、テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて情報収集に努めてください。また、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動してください。

問8 近くにミサイルが着弾した時はどうすればいいですか。

(答)

弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲などが異なりますが、次のように行動してください。

- ・ 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。
- ・ 屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

別添 4

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練
の実施について

平成29年4月21日

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施について

秋田県男鹿市の訓練の実施

北朝鮮は弾道ミサイルの発射を繰り返しており、昨年8月3日のように弾頭部分が日本の排他的経済水域に落下するケースも生じています。このような状況下において、弾道ミサイルが我が国に落下する可能性がある場合における対処について、国民の理解を進めが必要性が高まっていることから、3月17日に、秋田県及び男鹿市と共同して、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施しました。

【訓練の流れ】

＜訓練開始＞

♪アラート等を使って【ミサイル発射情報】を伝達

♪アラート等を使って【屋内避難の呼びかけ】を伝達。この伝達を受け、住民が屋内避難を開始

屋内避難が完了

♪アラート等を使って【落下場所等についての情報】を伝達

＜訓練終了＞

訓練の実施を通じてより一層国民の理解を進める必要性

今般の我が国を取り巻く環境は非常に厳しく、報道では頻繁に北朝鮮による弾道ミサイルの発射について取り上げており、国民の不安感は今までになく高まっています。このような状況下では、弾道ミサイルが我が国に落下する可能性がある場合における対処について、より一層国民の理解を促進する必要があり、早期に、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施する必要があると考えています。

（参考）総理大臣答弁（H29.3.14衆・本会議）

問】国民への情報提供や国民保護の取組について、総理の見解を伺う。
答（総理答弁）】～今月17日には、秋田県や男鹿（おが）い市と共同して、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施する予定です。訓練の結果をしっかりと検証した上で、他の自治体にも同様の訓練の積極的な実施を働き掛けるなど、国民保護の措置が実効的に実施されるよう、万全を期してまいります。～

各都道府県におかれましては、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の積極的な実施をお願いします。

訓練の内容について

弾道ミサイルが我が国に落下する可能性がある場合における
対処訓練の実施の理解を深くして、より実際の場面を想定した訓練
を実施するようお願いします。

○より実際に近い場面を想定した訓練

〈例〉

- ・屋内避難先をあらかじめ決めて訓練
- ・屋内避難が間に合わない住民がいるとの想定での訓練
- ・自動車を運転中の住民も参加する訓練

○色々なパターンの訓練

〈例〉

- ・屋内避難先に地下街等地下がある場所での訓練

また、住民避難訓練と併せて弾道ミサイルが陸上に墜落した場合の活動や警察・消防・検討をお願いします。
まちの地方公共団体についても、ご検討を実施する後

【参考】 秋田県男鹿市における訓練（①概要）

1 実施日時

平成29年3月17日（金）9：30～10：00

（訓練の流れ）

<訓練開始>

○Jアラート等を使って【ミサイル発射情報】を住民に伝達。



○Jアラート等を使って【屋内避難の呼びかけ】を住民に伝達。この伝達を受け、住民が屋内避難を開始。



○屋内避難が完了。○Jアラート等を使って【落下場所等についての情報】を住民に伝達。
<訓練終了>

2 訓練実施場所

男鹿市北浦公民館、男鹿市立北陽小学校

3 想定

×国から弾道ミサイルが発射され、我が国に落下する可能性があると判明する。

4 主な訓練項目

- (1) 国からJアラート、エムネットを使つた情報伝達を実施
- (2) 防災行政無線及び登録制メールによる住民への情報伝達を実施
- (3) 北浦公民館及び北陽小学校で住民や先生・児童が屋内避難を実施

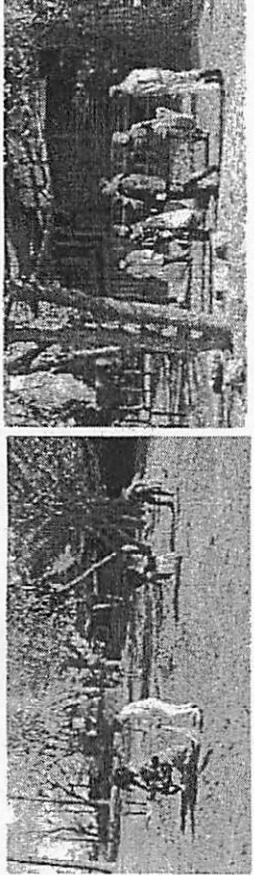
※：北浦公民館付近で清掃活動等をしている住民が、北浦公民館へ避難する。
・校庭で運動をしている児童及び校門付近で清掃活動をしている住民が、北陽小学校体育館へ避難する。

5 参加機関

内閣官房、消防庁、秋田県、男鹿市等

【参考】秋田県男鹿市における訓練（②訓練風景）

北浦公民館での訓練



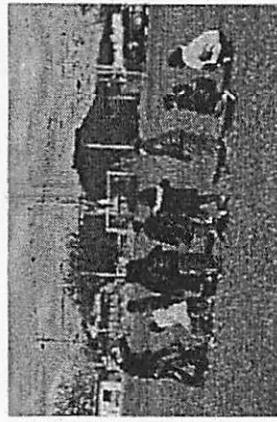
①屋内避難中の避難者役の住民
②ミサイル発射情報を聞き、清掃活動を中止。防災行政無線からの放送を聞いています。



③屋内避難の呼びかけを聞き、お互いに声を掛け合い、近くの頑丈な建物である北浦公民館に避難。

④周囲の安全が確認されるまで北浦公民館で待機。その後、市役所から被害がないとの情報があり、避難を終了。

北陽小学校での訓練

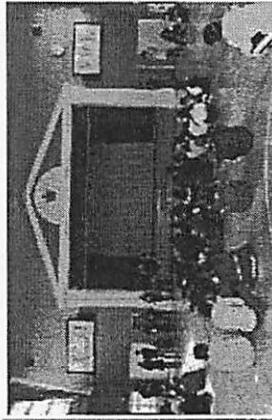


①校庭で運動している避難者役の先生と児童

②ミサイル発射情報を聞き、運動を中心止。児童は先生の近くに集合し、防災行政無線からの情報を聞いています。



③室内避難の呼びかけを聞き、先生の先導により、近くの頑丈な建物である体育館に避難。



④周囲の安全が確認されるまで体育館で待機。その後、市役所から被害がないとの情報があり、避難を終了。